### 北海道根室高等学校 学校通信 第3号

# あ〉学舎よ夢多き



北海道根室高等学校 <del>1</del> 087-0002 北海道根室市牧の内146番地 TEL 0153-24-4675

発行日:令和5年5月29日

# 【授業紹介:商業科・事務情報科】3年次課題研究について

3年次 商業科・事務情報科の課題研究は、商品開発、地 域貢献、ビジネスリサーチ、資格取得の5つグループによる 活動が行われています。

今回は地域と連携・協働した活動について紹介です。5月 11日、地域貢献の活動として、平和記念碑や周辺の清掃活 動を計画しました。3年次生徒と根室市役所総務課の担当者 と事前の打ち合わせ行い計画を練りました。



### 【根室市からの支援】…5/22 根室高校教育振興会の開催

5月22日(月)、コロナ禍により数年間、書面で審議されていた教育振興会(北海道根室高 等学校教育振興会)が対面で開催されました。 この会は根室市唯一の後期中等教育機関で ある根室高校の教育活動を充実させ、魅力化を図ることにより、これからの地域を担う人材 育成に資することを目的としています。 岡野会長、顧問の石垣市長の挨拶後、昨年度の事業 なお、写真にもあるよう 及び決算報告、今年度の活動計画の説明があり、了承されました。

に、先に行われたノートパソコン貸与式においては、1年次商業科 の野田さんがノートパソコンを受け取り、「手軽に持ち運べる端末 を活用し、まとめ資料やプレゼンに活用したい」と謝辞を述べまし た。 ノートパソコンの支援以外にも、資格取得・模擬試験への経 費支援、総合的な探究の時間への応援事業、JR通学をする生徒へ



の経費補助など、多くの支援をいただいており、感謝いたします。 令和5年度は、新たにAI を活用した個別最適な学習ができる学習ソフトを導入していただいています。朝学習におい て活用するなど、新たな学びの支援が本校生徒の学力向上に資するものとなっています。



5月8日(月)、 1年次の集会を実 施しました。5月 30日から6月2日 に実施される前期

中間考査に向けて、永井年次主任より成績や欠 課時数の説明、期待の言葉が述べられました。 できることから地道に取り組もう!

# [2年來]

5月8日(月)、 2年次は進路別ガ イダンスを実施し ました。2年次団 の先生達がそれぞ



れ講師となり、進路や教員の体験談など、生徒の進 路意識向上に向けた話がありました。生徒も食い入 るように話を聞いていました。 夢への実現へ!

## 【1年生説明資料紹介】 なぜ?探究活動を行うのか !~自己の学びと協働による思考から将来の武器を備える ~

### ① 根高の探究活動とは

深められる利点がある。

皆さんは、高校卒業後、大学や専門学校などに進学したり就職しますが、いずれは何らかの職業に就き、社会で活躍する 人材となります。大半の仕事は一人行うのではなく、他の人と協働しながら、業務やその時々の課題に対応していくことに なる。これからは人生100年時代と言われており、100年をどのように生き抜くかを考えていく必要があります。

近年、少子高齢化や複雑化した社会に対応するため、企業と地域住民が知恵を出し合い最適解を検討する動きも見られている。また、企業でも身近なことから始まり地球規模まで、SDGsの観点から企業が担う役割や企業の価値を向上させる取組が始まっている。このような現状から、高校で行う探究活動は、多様で多角的なものの見方・考え方を探究の過程を踏まながら獲得していくものです。時には課題解決のための答えが出ないかもしれないし、多くの事柄が複数にまたがっているやっかいな問題もあるが、果敢にチャレンジしてほしい。 探究活動の過程は「①課題の設定」「②情報の収集」「③整理・現状分析」「④課題解決策・実行」「⑤まとめ・表現」というプロセスがある。この過程の中で、各分野・領域における課題を解決するためには、失敗や試行錯誤しながら修正や改善を繰り返すことに意義があり、結果として学びが深まっていく。一人で考えるのではなく、皆でアイデアを持ち寄ったり、先生や地域の方々などからアドバイスをもらいながら、対話や議論を繰り返し、協働に学ぶことで新たな視点や発想を得ることができる。協働するは探究的の質を高めたり、思考を広げ

生徒の皆さんには、これから行う探究というプロセスを通して、今後の社会で使える考え方や取り組み方など多くの武器を手に入れることを期待する。多くの人と関わりながら、協働しながら多様なものの見方・考え方を身に付けてほしい。

### ② 1年間の活動テーマ「地域や郷土を理解する」

今年度の1年次の活動は、「地域や郷土を理解する」をテーマに取り組みます。ちなみに、「根室はどんな地域?どんな特徴・特色がある?どんな課題がある?あなたはどう考えている?」と道内外・諸外国の人たちに聞かれたらどのように説明するだろうか。そこで、授業の前半は考えるための道具である思考ツールの活用方法を学ぶ。中盤は地域の時事・社会状況など根室市統計データや新聞記事を活用したり、地域方々から話を聞くなどしてSDGsに係る事項をまとめる。後半は根室の地域についての課題を把握・まとめ。更に、地域巡検をしながら課題について理解を深める。また、その他、近年、各地で自然災害が多く多発していることから、自分や地域を守るための防災について学ぶ体験も行う。